

功績者表彰式のお知らせ

植物防疫の発展に寄与された功績者の表彰式について、この3年間は新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインによるライブ配信で行いました。

本年度第39回表彰式は従来の会場開催に戻してハイブリッド型で開催することとし、シンポジウム終了後に以下のとおり開催いたします。お時間の許す方は是非ご出席の上、祝福を賜りたくご案内申し上げます。なお、表彰式のあと祝賀会も開催いたします。

開催日時：令和6年9月25日（水） 15:45～16:15

開催場所：北とびあ「つつじホール」（祝賀会会場は北とびあ17階「QUAD17」）

第39回功労賞受賞者（3名：五十音順）

片岡 光信 氏（かたおか みつのぶ）

- 職歴 京都府農業総合研究所、同病害虫防除所、府庁農林水産部理事
- 業績 ○ハウレンソウ斑点病の発生状況を調査し発生環境を明らかにするとともに、雨除けハウスが効果的であること、ほ場排水が大切であることなど防除法の確立に貢献された。
- カブ（スグキナ）バーチシリウム黒点病について、各種調査をもとに病原菌を明らかにするとともに、薬剤防除法を確立された。
- 専門技術員時に普及職員に対し研修等を通じ技術や知識の向上に努めるとともに、ホームページ上に「Web 病害虫図鑑」を作成するなど尽力された。

深谷 雅子 氏（ふかや まさこ）

- 職歴 秋田県果樹試験場、同県農林水産技術センター
- 業績 ○ブドウ芽枯病（新病害）の発生生態を解明するとともに、有効な防除薬剤を選抜し、防除方法の確立に貢献された。
- 難防除病害であるブドウ晩腐病について、発生生態を詳細に検討し、気象条件と合わせて一次感染時期を予測する方法を見出すとともに、有効な薬剤の適期散布による効率的防除方法を確立、普及に尽力された。
- ナシ炭疽病、輪紋病など病害について、病原菌の発消長を明らかにし、伝染源対策及び果実感染防止のための防除方法の構築に寄与された。

矢野 貞彦 氏（やの さだひこ）

- 職歴 和歌山県農業改良普及所、同県農業試験場、同県植物防疫協会
- 業績 ○水稻病害虫の発生予察について、定点巡回調査データの集計を手計算からコンピュータ処理に変更し、情報提供の迅速化に貢献された。
- ハウスイチゴ栽培におけるハダニ類防除について、チリカブリダニ放飼による防除方法を現地で実施し条件検討を行い、実用化に向け尽力された。
- ムッテンアザミウマの発育・増殖と温度との関係を詳細に調査して、発生生態の解明に寄与された。